

さようならを最後に言った日が
遠ければ遠いほど
寂しくはないらしい
桜流し
はねた前髪が司っていたのかもしれない
尊い終幕
東京では
電車が止まるくらい当たり前に
五月雨は降り
とうとうと
特に意味もない歌が流れる
街角で
前髪に梅雨
いつだっただろうか
さようならを最後に言ったのは
今さら
見直ししろよと伝えていたなら
今になって
もっと悲しむべきだったと
後ろ髪を引かれる
笑顔のままの幕引きはない
窓から引きで見る
雨の止まる衝突音
温度が引いていく
コンビニでヘアワックスを買う
信号のある交差点を渡って帰る
さようなら